

日・赤・さいたま



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

2023 春
vol. 150

- [特集] ①身近な場所で広がる万への備え
ー“いのちを救う輪”が広がっていますー
- ②県内赤十字施設のトピックス



苦しんでいる人を救いたい。
その思いを行動に



若手神職を対象とした講習会の様子

特集

身近な場所で広がる万への備え —いのちを救う輪が広がっています—



県内神社の若手神職を対象 に講習会を実施!

2022年9月9日(救急の日)、長瀬町にある寶登山神社を会場に埼玉県神道青年会による救急法講習会が実施され、地元のボランティア指導員が指導にあたりました。

この日集まったのは、県内19の神社から26名の若手神職。多くの方が訪れる神社での緊急事態や、神職の厳しい修行中の事故を防ごうと行われたものです。

一次救命処置の重要性や手順について確認したのち、指導員の掛け声に合わせて一斉に実技に取り組みました。

この様子は、NHKなどのメディアでも取り上げられ、「もしも」に備えることの大切さを広く発信できました。



鎮守氷川神社(川口市) 櫛宜 鈴木智之さん

神社は多くの人にとって、心身の健康を祈りに訪れる場所です。だからこそ、「安心して参拝できるようにしたい」との思いから講習会を開催しました。この会をきっかけに、さらに安心して参拝できる環境を整えていきたいです。



北向神社(美里町) 櫛宜 岡本主税さん

久しぶりに受講しました。声を出しながら、万を想定した動作を複数回体験したことで、少しですが自信をいただきました。今後もいざという時の対応をイメージしながら参拝される方をお迎えしたいと思います。



オンラインでも! イベントでも!

当支部では、コロナ禍による接触機会の軽減を目的に、昨年度からオンラインによる講習普及に取り組んでいます。

人形の代わりに、Tシャツやペットボトルなどを使用して行う講習は、自宅や職場から参加できる手軽さから好評をいただいています。

また、今年度から、徐々にイベントへの出展を再開しています。心肺蘇生・AEDのコーナーを設け、普段救急法に馴染みのない方々に体験していただいています。



オンライン講習を行う指導員



オンライン講習に参加する高校生



お仕事体験イベントへの出展



ショッピングモールへの出展

こんな活動も

情報番組の水難事故防止特集に協力しました!

2022年夏のレジャーシーズン、全国的に水難事故が多発しました。

8月16日のTBSテレビ「Nスタ」で、水難事故防止の特集が放送され、水上安全法指導員の資格を持つ当支部職員とボランティアが出演しました。

「悲しい事故を少しでもなくしたい」そんな思いで、当日朝7時から営業前のプールを借りて撮影したこの特集。水の事故から大切な命を守るための方法などについて伝えることができました!

特集の一部はこちらからご覧いただけます
(TBS NEWS DIG YouTubeチャンネル)



講習資材は皆さまからのご寄付で整備しています。

毎年多くの講習の依頼をいただいています。それらに対応するため、現在、心肺蘇生練習用の人形を241体(成人、幼児、乳児)、AEDデモ機111台など多くの資材を整備しています。これらの資材は、皆さまからお寄せいただいた活動資金で購入・維持しているもので、日々、職員とボランティア指導員が丁寧に扱いながら一つ一つの資材を長く使用しています。これからも、皆さまの期待にお応えできるよう、「いのちと健康、尊厳を守る」活動を進めてまいります。



日本赤十字社「一次救命処置に関する意識調査」

呼吸が止まっている人を見かけたら、あなたは救助できますか？

～一次救命処置の必要性認識8割 講習受講など何もしていない5割～

日本赤十字社は昨年12月、全国の10～60代の男女1,200名を対象に、一次救命処置に関する意識調査を行いました。

調査では、8割を超える方が心肺蘇生などの一次救命処置を「必要」と認識していたものの、そのうち半数以上の方が講習会への参加など具体的な行動について、「特に何もしていない」とする残念な結果となりました。

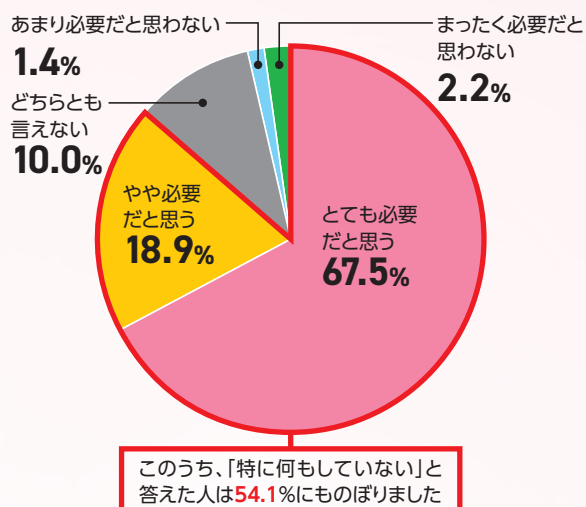
その理由として、「何をすればいいのかわからなかったから」が47.1%にのぼり、次いで「調べたり学んだりしても、自分にはできる自信がなかったから(21.2%)」「行動に移すほど自分にとって優先度が高くなかったから(13.9%)」となっています。

一次救命処置は、その場に居合わせた人がすぐに行うことが重要です。難しい技術ではなく、一般の市民でも直ぐに実践できます。

日本赤十字社では救急法などの講習会を実施しており、小学生からご年配の方まで多くの方にご参加いただいています。

大切な人に「もしも」があったら…。ぜひ一步を踏み出してみてください。

一次救命処置の必要性について



講習担当

お申込み
お待ち
しています！

講習会のお申込み

いのちを守る講習普及プログラム(企業連携)が始まっています！

安心・安全な地域づくりに向けて企業や団体と連携した取組を進めています。

ご賛同いただいた企業や団体には、受講をPRできる各種グッズを贈呈。それらを対外的に示していただくことで、地域に安心感を醸成するとともに、他の企業や団体に波及効果を狙うものです。

詳しくは、担当までお問い合わせください。



グッズ例(ステッカー)

◇個人の方が申込む

一般の方を対象にした各種講習会を実施しています。日程の確認・お申込みは、ホームページをご確認ください。(申込は先着)

◇企業や団体・自治会などが申込む

原則10名以上で開催される場合、ご希望の日程・場所・内容で赤十字の指導員を派遣しています。開催の2ヶ月前までにお電話ください。

■お問い合わせ先

048-789-7117(講習担当)



ホームページ

関東屈指の
パワー
スポット!!

AEDを設置する三峯神社

神社があるのは、最寄りの駅からおよそ40km、救急車の到着には1時間ほどかかる人里離れた場所。何かあった時の対応を真剣に考える必要があると話す山中さんは、働く人も訪れる人も安心できるAEDを「お守り」のような存在と表現していました。

磯野さんには実際に使用した時のお話しをお聞きました。とある日、男性が前のめりに倒れたそう。意識はなく、深刻な状況。周囲が騒然とする中、近くにいた参拝者の看護師が心肺蘇生を開始。磯野さんはAEDを操作、2度ショックを行って蘇生を続けていると男性は息を吹き返しました。この経験から、「心肺蘇生があつてのAED。定期的な復習が大切。」と力を込めていました。

神社では、「人が倒れている」と通報があると、まずはAEDを持ち出すことになっています。

おふたりは、「安心してご参拝ください。」と話していました。



設置されたAEDと権禰宜の
山中さん(左)と磯野さん(右)

神社情報

埼玉県秩父市の標高約1,100mの山上にある神社で秩父三社の一社。県内外から多くの参拝客が訪れる。
秩父市三峰298-1
Tel 0494-55-0241

公式ホームページ



県内施設 最新のトピックス



さいたま赤十字病院



公式ホームページ



パレスチナ難民キャンプに職員を派遣しました!

レバノン共和国にあるパレスチナ難民キャンプでの医療支援のため、医事課の職員を昨年8月から12月までの間派遣しました。日赤では混乱が続く中東地域に対し、継続的に支援をしています。今回は、他の赤十字病院などから派遣された医師、看護師らとともに現地の赤新月社が運営する病院の「医療の質の向上」のため、日赤が持つ知識と技術を伝える活動を行いました。



小川赤十字病院



公式ホームページ



実践的な救護訓練に参加しました!

神奈川県赤十字病院で実施された、関東近県の日赤支部と関係機関で行う災害救護訓練に救護班が参加しました。最大震度7の地震発生を想定した訓練で、避難所の情報収集および巡回診療を行いました。感染症の予防など様々なことを考える必要があり、改めて備えの大切さを再認識しました。県の災害時連携病院である当院では、どんなときでも健康と安心を提供できるような体制づくりに取り組んでまいります。



深谷赤十字病院



公式ホームページ



最新鋭の手術支援ロボットを導入しました!

昨年8月、最新鋭の手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入し、泌尿器科領域から運用を開始しました。

ロボットを使用した手術は、従来の手術と比べ、出血量が少なくすむなど、患者さんへの負担を大きく減らすことができます。

令和5年度は、長年使用してきた放射線治療機器を更新し、がん治療の治療体制が強化されます。県北地域で高まるニーズにお応えできるよう努めてまいります。



日本赤十字看護大学 さいたま看護学部(大宮キャンパス)



公式ホームページ



将来の医療人材にむけ公開授業を開始しました!

さいたま赤十字看護専門学校のバトンを引き継ぎ、開設した同校。県内3つの赤十字病院をはじめ、様々な施設と連携した学修を通して、病院と地域をつなぐケアも学んでいます。昨年10月、在学生と高校生と一緒に受講できる公開授業を行い、医療に関心をもってもらう機会を設けるなど、将来の医療人材の確保に向け、大学の資源を社会に還元するよう努めています。



県内施設 最新のトピックス



埼玉県赤十字血液センター



公式ホームページ

埼玉西武ライオンズとのコラボキャンペーンを実施しました!

冬季に減少する献血者の確保を図るため、今年度も埼玉西武ライオンズ様にご協力いただき、キャンペーンを実施しました。

古賀悠斗選手、中山誠吾選手にご協力いただき、公式YouTubeチャンネルで献血PRのメッセージを発信していただいたほか、抽選で両選手のサインボールのプレゼントも行いました。

当センターでは、協力団体様からお力添えをいただき、安定的な血液の供給に努めています。



特別養護老人ホーム 小川ひなた荘



公式ホームページ

季節の行事で利用者様を元気に!

コロナ禍でご家族様や外部の方々との面会を制限している中、利用者様に毎日楽しく元気に過ごしていただけるよう、餅つき大会や梅干しづくりなど、工夫しながら四季折々の行事に取り組んでいます。



お知らせ JKA補助事業 のご報告



社会福祉施設の両園では、公益財団法人JKAの競輪公益資金による補助金を活用し、介護設備を充実させました。

小川ひなた荘では、利用者様が寝たままの姿勢で入浴できる特殊な浴槽を、彩華園では着替えや入浴の際に使用する天井走行式のリフトシステムを整備しました。

これにより、安全な介護と、職員の負担軽減につながることができました。今後も、さらに良質な介護サービスを提供できるよう努めてまいります。



使用方法の研修を行う職員(彩華園)



介護浴槽及び昇降式ストレッチャー(小川ひなた荘)



特別養護老人ホーム 彩華園



公式ホームページ

高校生対象の“認知症”に関する特別授業を実施しました!

県立熊谷農業高校から依頼があり、「認知症サポーター」を育成するための特別授業を行いました。認知症の方やそのご家族が負担なく暮らせるよう、正しい知識を持ち、困っている人の理解者になること、そしてできる範囲で手助けすることについてお話をしました。生徒のみなさんは真剣な眼差しで聞いてくださいました。



次号から広報誌の送付内容・発行時期が変わります!

本誌「日赤さいたま」は、赤十字をお支えいただいている皆さまに活動を報告するため、年に2回発行しています。

次回発行号から、会員の皆様には本社が作成する全国版の会員誌「Cross com-book(クロスコムブック)」を同時にお届けします。

これまで以上に、日頃のご支援がどのような活動に結びついているのかお伝えしてまいりますので、ご期待ください。

発行時期:8月・3月



現在

発行時期:7月・12月

※変更になる場合があります

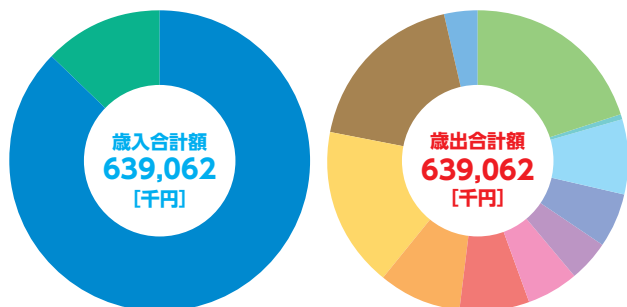


※クロスコムブックの送付は会員のみ次号以降

REPORT 会員のみなさまへご報告

令和4年度 第4回評議員会 令和5年度事業計画・予算が承認

令和5年2月14日(火)、令和4年度第4回評議員会を開催し、支部をはじめ県内の医療施設、社会福祉施設の令和5年度事業計画・予算が原案のとおり承認されました。令和5年度も積極的に赤十字事業を進めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。



項目	金額 [千円]
1 活動資金収入	558,000
2 事業収入・その他	81,062
歳入合計額	639,062

項目	金額 [千円]
1 災害救護活動のため	129,196
2 国際救援活動のため	2,799
3 救急法・幼児安全法等講習普及のため	52,380
4 青少年赤十字活動のため	37,113
5 赤十字ボランティア活動のため	28,000
6 救急医療活動や看護師養成のため	35,746
7 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	46,752
8 各市区町村での赤十字活動のため	58,500
9 赤十字会員の加入促進や広報活動のため	109,193
10 業務運営管理等のため	117,383
11 積立金	22,000
歳出合計額	639,062

◇赤十字病院および社会福祉施設は施設ごと、血液センターは血液事業全体での特別会計のため、この予算には含まれていません。

PRESENT プレゼント



チーズケーキ専門店 Cheese Cakeing ef (さいたま市緑区)

チーズをブレンドしたスイーツが人気のチーズケーキ専門店。ニューヨークチーズケーキやフロマージュスフレなど、チーズ本来のコクや風味をいかしたスイーツで食べる人を喜ばせています。

「自由に楽しく気持ち良く(free.fun.fine.)」をテーマに、チーズの無限の可能性を追求するべく、日夜商品づくりに挑戦している同店。「いのちと健康、尊厳を守る」赤十字の活動に共感し、店内に募金箱を設置してくださっています。

また、オーナーの福田和博さんは赤十字水上安全法・雪上安全法のボランティア指導員としても赤十字にご支援いただいています。



公式ホームページ

焼き菓子セット

素材からこだわった自慢の焼き菓子セット。オーナーのおすすめをお届けします。

※写真はイメージ。内容が異なる場合があります。



抽選で
5名様!!

プレゼント応募方法

メール・はがき・FAXでご応募ください。

締切は**5月31日(水)** 必着

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報は、プレゼントの発送およびご連絡にのみ使用いたします。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで、当支部が行う広報に活用させていただく場合があります。

応募にあたって

以下の項目を明記のうえご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
⑤メールアドレス ⑥本紙入手場所(例/献血ルーム)
⑦ご感想 ⑧ご要望(取り上げてほしいテーマなど)

※メールの際は、件名に「日赤さいたまプレゼント応募」とご記載ください。

応募先

〒330-0064
埼玉県さいたま市
浦和区岸町3-17-1
日本赤十字社 埼玉県支部
日赤さいたま担当
FAX:048-834-1520
Mail:koho@saitama.jrc.or.jp

いろいろな形での寄付方法のご案内

赤十字支援型 自動販売機

飲料メーカーの売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。



赤十字活動資金 募金箱

事業者や店舗等に設置していただき、社会貢献のPRにも繋がります。



リサイクル寄付

ご自宅等にある不要なものを査定・換金し、その一部が赤十字の活動資金になります。



日赤さいたまは日本赤十字社埼玉県支部が発行する広報紙です。この広報紙は2,000円以上のご寄付をいただいている方へお送りしているほか、市区町村の日赤窓口、赤十字施設でお配りしています。支部ホームページで閲覧することもできます。